

授業計画（シラバス）

■科 目	組織・発生学	■講師名	河野 哲朗
I 部 1 学年	後期 8 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 15 時間	講義 1 単位
■学修概要			
<p>人体を構成する細胞・組織および、口腔内の諸器官における正常な組織構造、またそれらの発生過程について学習する。</p>			
■授業目的、到達目標			
<p>科学的根拠に基づいて歯科衛生士が行う業務を間違いなく実行できるよう、ヒトの体を構成する細胞、組織、器官の関係を理解し、ヒトの発生過程を学ぶ。歯および歯周組織のミクロ構造と発生を学び、患者へ組織構造の分かり易い説明が出来るように、また歯科疾患を理解する基礎知識を習得する。</p>			
■授業方法			
<p>教科書を使用し、パソコンによって組織像（模式図）、顕微鏡像を供覧する。 授業で使用するスライドの一部は閲覧できるようにする。</p>			
■教科書（書籍名・著者・出版社）			
<p>歯科衛生学シリーズ／人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ／歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版</p>			
■成績評価・講義上の注意			
<p>最終評価は全ての講義後に行う「平常試験評価点」（85%）また、提出物、授業態度および出欠（15%）にて評価を行う。最終評価が 60 点に達しない場合には、追・再試験期間中に全範囲における試験を行う。基本的事項の理解から始めて、学習で生じる疑問などを授業で積極的に質問すること。授業の容量に対して、授業コマ数が少ないため集中し講義に臨むこと。</p>			
■実務経験			
<p>現在、日本大学松戸歯学部での組織・発生学の講義・実習を担当しており、また大学病院および一般歯科医院での臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p>			
■授業計画（講義の流れ）			
1	細 胞		
2	四大組織 ①（上皮組織・支持組織）・皮膚の構造		
3	四大組織 ②（筋組織・神経組織）		
4	歯冠と歯根を構成する組織（エナメル質・象牙質・歯髄複合体）		
5	歯周組織（セメント質・歯根膜・歯槽骨・歯肉）		
6	口腔粘膜ならびに唾液腺の構造、ヒトの初期発生		
7	顎・顔面の発生、歯および歯周組織の発生		
8	定期試験、解答解説		